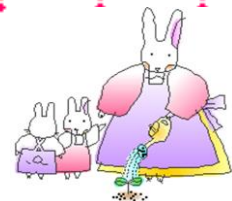


がん患者さんとご家族のための おしゃべりサロン

都立駒込病院
サロン便り No. 79
(2018年9月発行)



2018年8月10日に第86回“おしゃべりサロン”を開催しました。体験者7名（男性2名、女性5名）家族1名（女性1名）合計8名の方が参加されました。今回ははじめて参加された方のお話を伺いながら、抗がん剤治療の副作用、告知を受けた時の状況、現在の思いなどを分かち合いしました。それぞれの方のお話を聞き、話す中で、なごやかな時間を過ごすことができましたのではないのでしょうか。



サロンのお約束を確認して始まりました。

- ①自分のことは自分の言葉で話すこと。
- ②他の方のお話は、善し悪しを評価しないで最後まで聴くこと。
- ③サロンでのお話はこの場限りにすること。
SNSへの投稿、録音、写真撮影は禁止。
以上の3点をお願いしました。

○術後3か月でリンパ浮腫発生。スリーブ(圧迫包帯)をしていて、この夏の暑さもあり鬱陶しい。

○半年間、抗がん剤治療のために通院した。抗がん剤の副作用で体はだるく、思考力がにぶくなり、爪も黒くなる。副作用の出方はサイクル、傾向があるので、状態に合わせて生活していた。苦しい時は先生と良く話した方が良いと思う。

○がんになった時、痛いのはイヤだったから、緩和ケアの事を調べた。早めに情報をつかんでいく事が大切と思う。

○術後1か月の検診の時、駅のエスカレーターやエレベーターがとてもありがたかった。バリアフリーは大切だと実感した。

○情報がないと、どこの病院を選んで良いかわからない。

○「運命は行動で変えられる」と思う。

○行くのをためらっていたら娘に「受けないつもり？」と言われ、怖いけど健康診断を受けた。

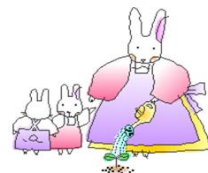
○生きる事は色々向き合っていく事。がん体験者から聞いた言葉だが「死ぬ事以外はかすり傷」と思い、自分らしい人生を送りたい。

○がんの人は皆気持ちが暗いのかと思っていた。サロンに出たらポジティブで驚いた。

○サロンに出てくるから元気になる。出てくれば話ができる。ここはアットホームな雰囲気だと思う。

体験や想いを分かち合った内容を、ごく一部ですがご紹介させていただきました。次回もスタッフ一同、皆様の参加を心よりお待ちしております。

次回・次々回のご案内



- 日時：毎月・第2金曜日（13時～15時）
2018年10月12日（金）
2018年11月9日（金）
- 場所：都立駒込病院 本館3階
患者サロン(中央エレベーター横)
- 対象：主にがん患者さん・ご家族
どちらの医療機関に掛かっていても参加出来ます。
*予約はいりません / 参加費は無料です